



製造業

MANUFACTURING

製造業とは

製造業は、日本標準産業分類において、主として「新たな製品の製造加工を行う事業所」であり「新たな製品を主として卸売する事業所」と定義されています。

卸売

ここでいう卸売とは次の業務をいいます。

(ア) 卸売業者又は小売業者に販売すること。

(イ) 産業用使用者（工場、鉱業所、建設業者、法人組織の農林水産業者、各種会社、官公庁、学校、病院、ホテルなど）に大量又は多額に製品を販売すること。

(ウ) 主として業務用に使用される商品〔事務用機械及び家具、病院、美容院、レストラン、ホテルなどの設備、産業用機械（農業用器具を除く）、建設材料（木材、セメント、板ガラス、かわらなど）など〕を販売すること。

(エ) 同一企業に属する他の事業所（同一企業の他の工場、販売所など）に製品を引き渡すこと。

なお、「扱う品目」や「卸売（販売）する先」によっては、製造業ではなく、他の業種に定義される場合があります。例えば、米・野菜などの製造は「農業」、自ら製造した製品を店舗によりその場で個人又は家庭用消費者へ販売する場合（いわゆる製造小売業）は「小売業」に分類されます。

許認可

例えば、化粧品製造業の場合、医薬品医療機器等法に基づく許可など、扱う品目によって許認可が必要となる場合があります。複数の許認可が必要な場合もありますので、事前に十分確認してください。複数の許認可が必要な場合は、取得期間に余裕をもって準備する必要があります。

製造業（菓子製造業）の
創業計画書例は、



をご覧ください。

point

！ 事業計画のポイント・留意点

「菓子製造業」の創業計画書例を掲載しています。

多様な消費者ニーズに対応した商品開発力が重要なため、明確なコンセプトと差別化を図ることがポイントです。グルテンフリー、オーガニック、季節食材、地域食材、アレルギー対応、ローカロリーなど、ニーズを細分化することに留意してください。



製造業(菓子製造業) 創業計画書例

創業計画書

◆事業概要

開業形態	個人事業・会社事業	商号(個人) 会社名(会社)	
開業(予定)住所	電話 ()		
開業届出(個人) 設立登記(法人)	有・無	開業(予定)年月日 設立(予定)年月日	年 月 日
業種	菓子製造業	資本金	[会社設立(予定)の場合] 円
従業員数	1	取扱品 洋菓子・パン	仕入先 〇〇食品(株) 〇〇商店
開業動機・目的	以前より、近隣の主婦に無添加の菓子やパンの作り方を教えていた。食物アレルギーに対応したクッキー・ケーキが好評で、購入したいとの要望が増えたため、事業化する決意をした。		
開業に必要な知識、技術、ノウハウの習得	〇年から〇年までの8年間、パン屋に勤務し、レシピと技術を習得した。菓子については、自身の体質改善のため、〇年ほど前から学んでいる。		

◆運転資金計画

名称	金額	積算内訳
商品・材料等の仕入資金	420 千円	仕入1か月分
人件費等	100 千円	創業時の人件費1か月分
その他の資金	480 千円	家賃、その他経費1か月分+予備費180千円
計	A 1,000 千円	

◆設備計画

区分	土地・建物	面積	取得方法	取得に要する資金	契約年月日	取得(完成)年月日
事業用不動産	土地	m ²	自己・新築取得・賃貸	千円		
	建物	40 m ²	賃貸保証金	1,500 千円		
計	B (取得に要する資金)			1,500 千円		

区分	名称	型式・能力	数量	単価	金額	発注先	設置(完成)年月日
機械器具・什器備品等	内外装工事費 設備 備品	〇〇〇	〇	〇〇	2,000千円	〇〇〇	
		〇〇〇	〇	〇〇	1,000千円	〇〇〇	
		〇〇〇	〇	〇〇	500千円	〇〇〇	
計	C (金額)				3,500 千円		

◆今回の資金計画による必要資金合計 A+B+C= 6,000 千円(D)

1年間の仕入高の平均とした

予備費を多くすることで、余裕のある計画としている

※おおよその額ではなく、契約書・見積書等に基づいた内容を記入してください。

※「◆資金調達計画」の合計額(D)と一致させてください。

◆資金調達計画

自己資金	預金		預金以外	
	預け先(金融機関本支店名等)	預金種別	金額	種類
	〇〇〇	普通	2,500 千円	有価証券
			千円	その他()
自己資金合計			2,500 千円	
借入金等	借入先	年利	借入額	毎月返済額
	今回の借入額	〇.〇%	3,500 千円	42 千円
			千円	借入期間
				'18.〇.〇~'25.〇.〇
借入金等合計			3,500 千円	調達資金合計
				D 6,000 千円

◆収支計画(今後1年間分)

支	出	収	入
仕入高	5,063 千円	売上高	12,000 千円
外注工費	千円	工賃収入	
人件費	1,550 千円	雑収入	
その他費用	3,600 千円		
利益	1,787 千円		
計	12,000 千円	計	12,000 千円

◆販売・仕入先

主な販売先・受注先	販売・受注予定額	回収方法	主な仕入先・外注先	仕入・外注予定額	支払方法
一般客(通信販売)	年 2,250 千円	現金・カード	〇〇食品(株)	年 3,800 千円	月末締め翌月〇日現金払
Cafe'〇〇	年 1,500 千円	月末締め翌月末現金回収	〇〇商店	年 1,263 千円	現金
〇〇他	年 8,250 千円	月末締め翌月末現金回収			

※年間返済額504千円
※借入金は利益で返済できるような計画をたてる必要があります。

※今回の借入額は、わかる範囲で記入してください。

【売上根拠より】
卸売 4,387.5千円
通販 675 千円

【売上根拠より】
卸売 9,750千円
通販 2,250千円

※個人事業の場合、事業主の給与は除きます。

※利益から借入金を返済します。

※回収方法・支払方法に加え、サイトがわかるよう具体的に記入してください。

■単価設定
クッキー・パン・ケーキ等
300円~1,500円を中心とする

■売上根拠・・・1か月25日営業で計算

- ・卸売(原価率45%)
飲食店 4店舗 オーガニック専門店 1店舗 ※見込先あり
1店舗あたり1日平均売上:5,000円 ※4か月目から3か月毎に1店舗の新規開拓
- ・通信販売(原価率30%)
1日5名の販売見込み
平均単価:1,500円

人件費:パート100千円/月×1名、6か月目から1名追加(50千円/月)
家賃:150千円/月
その他経費:150千円/月
(通勤交通費30千円/月、光熱費50千円/月、ほか消耗品費、減価償却費、借入金利息など)